

平成30年度
栗原市議会
議会報告会報告書

(平成30年10月27日～10月30日)

平成30年12月
栗原市議会

～ 目 次 ～

1	平成30年度議会報告会の実施状況	1
2	平成30年度議会報告会における意見・要望事項	
(1)	[地区別、部局別] 質問項目一覧	2
(2)	栗原市議会所管	3
(3)	総務常任委員会所管	4
(4)	産業建設常任委員会所管	6
(5)	文教民生常任委員会所管	8
(6)	指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会所管	
		10
(7)	議会のあり方調査特別委員会所管	18
(8)	入札制度に関する調査特別委員会所管	22
(9)	議会報告会運営調査特別委員会所管	24

栗原市議会議会報告会班別実施状況

班	地区	月日	時間	会場	出席者	欠席者	事務局	参加者数			
								男性	女性	計	
1班	一迫	10月27日	10:00 ～ 11:40	一迫総合支所 (大会議室)	五十嵐 勇 佐藤文男		鹿野美穂	9 (2)		9 (2)	
					三塚 東 濁沼一孝						
					佐藤 悟 菅原正剛						
					三浦善浩						
1班	鶯沢	10月29日	18:00 ～ 19:35	鶯沢振興センター (研修室)	五十嵐 勇 佐藤文男		菅原茂樹	12 (3)	1 (3)	13 (3)	
					三塚 東 濁沼一孝						
					佐藤 悟 菅原正剛						
					三浦善浩						
2班	築館	10月27日	10:00 ～ 11:15	市民活動支援センター (多目的室)	小野久一 佐藤 勇		高橋良枝	6 (1)		6 (1)	
					高橋義雄 相馬勝義						
					高橋 涉						
					佐藤久義						
	2班	志波姫	10月29日	18:00 ～ 19:12	この花さくや姫プラザ (健康指導室)	小野久一 相馬勝義 高橋義雄		狩野郁雄	15 (2)		15 (2)
						高橋 涉					
佐藤久義											
佐藤 勇											
2班	栗駒	10月30日	18:00 ～ 19:35	栗駒総合支所 (大会議室)	小野久一 高橋義雄	高橋義雄	三村 洋	22 (3)	5 (3)	27 (3)	
					高橋 涉 佐藤 勇						
					佐藤久義						
					相馬勝義						
3班	瀬峰	10月27日	10:00 ～ 11:35	瀬峰公民館 (会議室)	佐藤千昭	菅原勇喜	鹿野有三	11 (2)	2 (2)	13 (2)	
					高橋勝男 阿部貞光						
					高橋 将						
					佐々木嘉郎						
	3班	花山	10月29日	18:00 ～ 19:15	花山石楠花センター (集団指導室)	佐藤千昭 阿部貞光		三村 洋	6 (2)	2 (2)	8 (2)
						高橋勝男 佐々木嘉郎					
						高橋 将					
						菅原勇喜					
4班	若柳	10月27日	10:00 ～ 11:30	若柳総合支所 (会議室)	佐藤庄喜 石川正運 沼倉 猛		鈴木飛光	9 (1)	1 (1)	10 (1)	
					澤邊幸浩 瀬戸健治郎						
					佐藤範男						
					鹿野芳幸						
	4班	金成	10月29日	18:00 ～ 19:45	金成生涯学習センター (101・102研修室)	佐藤庄喜 石川正運		鈴木飛光	9 (3)	2 (3)	11 (3)
						澤邊幸浩 沼倉 猛					
						佐藤範男 瀬戸健治郎					
						鹿野芳幸					
	4班	高清水	10月30日	18:00 ～ 19:50	高清水総合支所 (会議室)	佐藤庄喜 石川正運		狩野郁雄	19 (17)	6 (17)	25 (17)
						澤邊幸浩 沼倉 猛					
						佐藤範男 瀬戸健治郎					
						鹿野芳幸					
参加者数計								118 (17)	19 (17)	137 (17)	

※参加者数には、市職員や報道機関も含まれる。なお、下段の()内は内数として市職員等の人数を記載している。

平成30年度栗原市議会議会報告会質問項目一覧

(単位:件)

部局	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	計
議会	2	6	11	4	3	2	1	5	1	1	36
総務部		1	1	1	7	1		1		1	13
企画部		2	1		1				1	1	6
市民生活部						2	2				4
建設部							3				3
農林振興部	2	3	1	4	6	2	13	4	9	4	48
商工観光部				2	1		1				4
教育部			1	1		3					5
消防本部										1	1
医療局				2							2
計	4	12	15	14	18	10	20	10	11	8	122

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

1 議会関係 2件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	人口減少、少子化対策について、議会としても特別委員会を設置して、対策に取り組むべきではないか。	人口減少、少子化対策については、議会としても看過できない課題であり今後も検討して行きたい。	若柳
2	原発再稼動の問題がある、その是非を問う県民投票をしようというための県の条例を作るそのための署名活動をしている。地方自治、直接民主制に関わる大きな取り組みであるし、社会参加を実践することは重要である。市議会でも積極的に県民条例や県民投票に向けて関わってほしい。	要望として承ります。	一迫

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

2 総務常任委員会所管 10件

1 総務部関係 3件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	人口減少対策として、JRくりこま高原駅周辺に、大規模な住宅分譲地を整備して、通勤の利便性を含めた、定住対策としてはどうか。	現在、栗原市としては、中核機能地域の開発として、JRくりこま高原駅から築館宮野地区までのエリアについて、開発の構想が検討されている。まだ、具体的な構想には至っていないが、今後、議会としても提言を含めて構想に注視していきたい。	若柳
2	防災無線の受信機を設置してほしい。耳が遠い高齢などの家には基準にとらわれずに、人それぞれの状況に応じて対応してほしい。	市役所に要望すれば設置してもらえらると思うので、そのような方に伝えてほしい。	栗駒
3	百目木宅地の看板が3箇所倒れたままになっている。	看板については早急に対応するよう当局に提言する。	花山

2 企画部関係 6件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	結婚相談員として活動しているが、栗原市では結婚相談のパンフレットや資料の作成に関しての、助成はないのか。婚活のイベント企画等についても、同様の援助が必要と思われる。少子化、人口減少の対策として、議会としても結婚相談に対応してもらいたい。	婚活イベントに関しては、市内の民間も含め、各団体で企画されている。栗原市においても、婚活に関する援助企画がなされている。尚、提言については、関連する担当部局に伝えたい。	若柳
2	行政区長のなり手がいなくて困っている。行政区長の報酬費を含めて、なり手不足解消のために、任用制度の再考を願いたい。	提言については、関連する担当部局に伝えたい。	若柳
3	①来年4月導入のデマンド交通について伝創館で1回説明があったが、それ以降具体的説明がない、あと5カ月しかなく文字、栗駒、鳥矢崎などへの影響は大きい、交通手段のない方へ説明すべき。利用する市民に重点を置いた運用をしてほしい。 ②文字・栗駒地区は路線バスが廃止され、バス代200円がデマンド交通では300円になり負担増となる。	①市には議員からも早く説明するように言っているので今後説明されると思うが、区長さんが苦勞するのではないかと危惧している、できるだけ早く地域を回って説明会をするよう望んでおり、ご意見があったことも伝えたい。 ②近いうちにデマンド交通の詳しい利用方法などの説明が出てくると思うので、もう少し待っていただきたい。	栗駒
4	デマンド交通に移行し、一迫以外は喜んで思う。今回のデマンド交通で一迫は不便になった。目的地に行かずに拠点までとなり、登録料もかかる。デマンド交通は年寄りのための交通である。登録料取らないでほしい。75歳になったら免許証返納をしようとした人が、買い物ができないのでやめた。拠点で降りても帰るのにタクシーを呼ぶケースもあるのではないかと。今一迫では30分前までに電話すれば来てくれるが、今度は前日までになった。高齢者には前日に電話して予約するのは大変である。高齢者のためにならないデマンド交通である。中道線を1～2本通してもらおう3年前から要望している。来年までまだ時間があるので、改善してほしい。	①自宅から拠点までしかいけない。市民説明会10会場、区長へ説明会を行っているが、実際利用している人の声を聞いていないようである。一つ前進したのは、前日予約は朝の1～2便で、それ以外は当日でも構わないとなった。この辺は業者との打合せもあるが、改善されると思う。 ②総務常任委員会として、常に市民の要望を的確に把握しながら、実用的で利便性の高い公共交通になるようにという意見を市長には伝えてある。国の許認可や予算の関係でこのようになっているかもしれない。 ③来年からデマンド交通が始まるが、その都度修正していく。先進地も見えてきたが、一迫方式が進んでいると思う。今後も一迫方式を全体に広められるように頑張っていく。	一迫

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
5	くりこま高原駅前開発はどうなっているか、栗原の発展は志波姫、くりこま高原駅が中心になると思っている。	今は農振地域を外すことを行なっている、駅前開発はこれから進んでいくと思われるが青写真がまだできていない。	志波姫
6	毎月16日の広報にイベントの事後報告が掲載されている。終わった行事を載せても意味がないのではないか	広報については当局に伝える。	花山

3 消防本部関係 1件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	消防団員のなり手不足が課題としてある。なり手不足の原因をどう捉えているのか。	①地域的な特性もあるようだ。行政から企業に対して働きかけている。また、消防団としても市民祭りなどでチラシ配布をして募集しているが、地域での働きかけが一番だと考えている。 ②花山地区の団員は65名、そのうち18名が女性である。人数が少ないことから訓練は一迫地区と合同で開催しているようである。	花山

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

3 産業建設常任委員会所管 11件

1 建設部関係 3件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	二迫川が荒れている。どのように川を整備してもらえるか教えてほしい。	河川管理は県である。若柳の上流、桜田の辺りまで刈り方が始まっている。河川改修は下流から行っている。上流の方が後回しになっているのは事実である。一部議員からも知事へ意見書を提出して河川改修を急いでもらおうという声はある。	鶯沢
2	声だけではダメである。私が幼少の頃から比べて川幅は3倍になったが、昔の川は埋まっている。そして新しくできた所だけ水が流れている。川幅が広がっても増水するのはそのためである。災害が起きたときだけ言われても困る。水害がおきないようにしてほしい。	今県では若柳から河川改修をしている。二迫川に登って来ている。大林と黒瀬と桜田に工事が入っている。その後一迫川、三迫川の計画のようである。	鶯沢
3	4月に河川愛護でやっているが、「川の中は草を刈るな、堤防から法面は5mでやめましょう」とその関係か川の中が全部荒れている。なぜ河川の中を刈ってダメなのか。私たちは川の中まで刈っているが、荒れてくる。	わかりました、県の方へ要望します。	鶯沢

2 農林振興部関係 4件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	沼田地区は雨が降ると冠水してわらが流れてきて大変だ、他人のわらでも地権者が処理している、何とかしてほしい。	今まで用水路ばかり整備して排水路を整備しなかったのが原因である、現在行われている八木の圃場整備が完了すれば排水がスムーズになると考えている。	志波姫
2	有害鳥獣対策が必要である。猟銃資格者が減ってきているのではないか	銃器や農等の資格取得に向けた助成制度もあるので、市でも取得する方の募集をしている。	花山
3	イノシシによって、毎年のように畦畔が壊されるので困っている。補助制度を考えてほしい。	要望として当局に伝える。	花山
4	警備会社と提携して、警備員に猟銃の資格を撮ってもらい、頼むことも必要ではないか。	ご意見として受け止める。	花山

3 商工観光部関係 4件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	地域振興としてショッピングセンターが欲しい。限界集落にならないよう振興を考えていただきたい。企業誘致にも努力して欲しい。	要望としてお伺いしておく。	高清水
2	市長公約の道の駅構想もあり、高清水に道の駅、パークゴルフ場を造って欲しい。	申し訳ないと言える立場ではない。	高清水

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
3	<p>今月合併前から開催されている伝統的な花山湖秋まつりがあった。2年前に突然、くりこま高原焼き肉祭りが同じ日に開催されている。今年は花山に来ている方が一部栗駒に流れたそうです。1週間ずらせないかと思う。ずらせば紅葉も見れて栗駒をアピールできる。栗原が一つになっていないようで悲しい思いをした。できるだけ重複しないように一つの行事をみんなで盛り上げてほしい。</p>	<p>花山、深山の主催者同士で調整をお願いしたいと思う。</p>	<p>一迫</p>
4	<p>栗駒の風土館について、なかなか貸してくれない。栗駒中学校2年生が秋の市で物を作って販売しており、風土館の前や駅の駐車場を使ってお客さんがたくさん来たが、大雨が降ってきて、雨の降る日になんで風土館貸さないのかと聞くと貸さないということだったが、そういう時に活用してほしい。</p> <p>また、陶芸展とかやりたい人とかもいるようだが、個人に貸さないのがダメだということである。風土館の中に色々な物があるので物がなくなったりするからなのか。栗駒の街中にも若者が店を出して色々活性化を図っている。そういうのにビルとか空き家を借りると家賃が高い。風土館を使わないのであれば、安価に貸すとかできないか。日本酒会などにはすぐ貸すそうだが、どうして貸さないのか議会でわかれば教えてほしい。</p>	<p>①風土館は六日町振興商業共同組合が指定管理しており、館内にはくり電の大事な物を保存している。最近食堂もなくなった。指定管理者として、貸出しの条件もあると思う。</p> <p>②指定管理料として420万円出して管理してもらっている。今年の春頃から食堂は閉鎖し、展示物はくり電もあるが、写真とか色々ある。誰も見に行かないようである。六日町振興商業共同組合が管理しており勝手に使用できない。決算のときにそういうことを質疑したことがある。利用したい別な団体が結構いるので、そういう所へ指定管理すべきである。神楽や演劇やるのにちょうど手ごろである。200人くらいのイベントがやりやすいと聞いている。議会として皆さんの意見を行政に話しをします。</p>	<p>鶯沢</p>

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

4 文教民生常任委員会所管 11件

1 市民生活部関係 4件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	①胃がん検診のあり方について。ピロリ菌の検査により胃がんによる死亡率が低下してきている。今年の集団検診からピロリ菌の検査が実施されるようになったが、胃カメラも集団検診の申し込み段階で受付できないか。 ②検診の際に胃カメラを希望したが、仙台ではなく近隣で検査できないか。	①市の検査等を確認し提言したいと考える。 ②要望として当局に伝える	瀬峰
2	集団検診の2次検査で、仙台の循環器センターに行かなければならない。特に大腸検査の場合は下剤を飲む必要があることから、トイレが心配である。近くの病院でできないのか。	集団検診については、入札で業者が決定されているので、検討を要するが要望として当局に伝える。	瀬峰
3	全国で風疹の被害が出ている。予防接種等は栗原市の子どもは無料になっているが、今後若い人たちが住む時に風疹等予防接種の補助とかできないか。	9月議会で風疹について一般質問した。首都圏の方ではやっている。まだ、宮城県では患者1人しか出てない。平成25年にも流行した。その時は栗原市では風疹対策として、妊娠の可能性のある方々40歳くらいまでの方とその家族も含めて対象にして助成したことがある。243人に予防接種して、経費として221万円ほどかけて、平成25年だけの対応だった。今回も無料接種をすべきではないかと質問したが、まだ流行の兆しがないということから経過を見ている。今後国県の動向を見ながら対応していくということで、県では注意喚起して抗体検査を受けるよう指導があるようだ。県内ではほとんど流行していない。結構首都圏からも人の交流があるので、油断ならないことである。	鶯沢
4	旧優生保護法で鶯沢にも該当者がいるのではないかと思う。政府も与野党でそうしたものを整理して、救済するものは救済すべきであるという新聞の見出しでみた。栗原市でもどれくらい人数がいるかわからないが、ゼロではないと思うので、そうしたことを感じ取って行動をおこしてほしいと考える。	それは意見として受けます。	鶯沢

2 教育部関係 5件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	①9月補正予算の小・中学校エアコン設置に係る基礎調査委託料は、なぜ調査に1,000万円もかかるのか。その予算でいち早く設置を進めた方が良くはないか。 ②ある学校ではエアコンの予算はあったが配線の予算がなく、使えない状況があったと聞く、そのようなことがないようにお願いしたい。	①教室数、その学校の電力・電圧が間に合うかなど様々調査が必要となる、市全体に係る費用、国に申請する補助金など、資料をつくらなければならないのでたいへんな調査が必要となるためである。 ②要望として受けたまわります。	栗駒

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
2	中学校統合には賛成したが、一人の住民要望として跡地を夏祭り、生涯学習まつり等の「いこいの場」にして子どもと一緒に行事ができる場にして欲しいがどうか。要望として他地域ではイスが固定された大きなホールがある。高清水にも設備がしっかりとした公民館が欲しい。	学校の跡地利用の方向づけは行政であり、教育関係での利用、又は地域での活用とある。要望としてお伺いしておく。	高清水
3	来年4月瀬峰中と高清水中が統合され、現在の瀬峰中学校を使用するが校舎はどの程度補修するか。裏の壁面は汚れていて真っ黒な状態である。	整備の件は議会で決まったものはない。整備についても議会で議論をしていきたい。	瀬峰
4	中学校の統合により、スクールバス通学になると思うが、学校への入り口など改善が必要な箇所があるがどうなっているのか。	これまでも各議員から提言されているが、市民からも要望があったことを当局に提言していく。	瀬峰
5	瀬峰中学校の武道館に設置されている給水機が、5年ほど前から故障中となっているが直してほしい	当局に伝える。発見した場合は、その都度、総合支所へ連絡してほしい。	瀬峰

3 医療局関係 2件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	市民の健康を脅かす高清水診療所を休診しないような対策はどうなっているのか。	診療所の先生は病気である。瀬峰でも退職され医師不足である。花山でも栗原中央病院より派遣されている。高清水診療所への医師の確保は困難である。10月29日付けの11月診療予定では木曜日の診療が変更追加となり状況が良くなってきた。月、水は花山から、火、木は大学病院から、金は栗原中央病院の先生がそれぞれ担当する。	高清水
2	高清水診療所は健康を守る砦であり継続していただきたい。	要望としてお伺いしておく。	高清水

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

5 指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会所管 46件

1 議会関係 2件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	7月11日の汚染牧草処理施設の候補地(上田山牧野)の現地調査及び机上調査について視点はどこに置いているのか、また議員個々の調査の視点はあるのか。	現地調査は市から示された場所がどこで、そこが適切なのか、水の流れや土砂の流出などあるか、民家はどこか等調査している。机上調査は市から示されたことを特別委員会で議論・調査している。議会全体の視点と議員個々の考え方があり捉え方は様々だ。全体としては堆肥化の方針が決まった中でどうしていくのか、上田山が適地なのかを調査していく。	栗駒
2	①汚染牧草処理方針案に対する議会としての考えがハッキリしていない、上田山について議会としてどう考えているのか。 ②先日、栗駒地区民の会が市長と議長に申し入れをしたが、議長はどのように回答されたか。	①候補地については報道後に議会に説明があった、場所は決定していない、決まっているのは堆肥化ということで、議会もそれを承認している責任があり今後、住民が納得できる説明を当局に求めていきたい。 ②会の代表から聞いたところ市長の回答は、立ち止まって少し考えさせてほしいとのことであった。	栗駒

2 農林振興部関係 44件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	①平成30年6月26日の指定廃棄物等の特別委員会で汚染牧草の堆肥化施設建設の説明の際、候補地は1か所で示されたのか、市で検討された2か所の説明はあったか、また環境省との協議は堆肥化だけでなく他の処理方法についてはなかったのか。 ②平成30年7月5日栗駒三丁での住民説明会で市から、候補地として念頭に2か所あったが上田山牧野になったとの説明があった、議会にはその説明はあったか。	①候補地として上田山牧野との説明であって、市有地を最優先とし、現在未使用ということで決まったようだ。環境省協議については、安全な隔離保管は最終処分ではなく、予算措置は困難とのことであり、また前市長時代から焼却ではなく堆肥化が最優先で進められてきた経緯がある。 ②住民説明会で市からその他の場所も検討したとの説明があったが、具体的な場所名は出ていない。議会には6月26日に説明された。	築館
2	単純すき込みと堆肥化した場合との違い等を同時に実証実験して、環境に影響があるのか調査していないのか。登米市でのすき込み状況を調査するとのことだったがどうなっているか。	①登米市の状況は把握していない、議会全体としては堆肥化の方向である。 ②全員協議会で市長から「立ち止まって考える、広範囲で調査する。」との発言があった。早い時期での堆肥化は難しいのではないかと。議会では堆肥化実験について予算を通している。環境省交付金は堆肥化とすき込みの併用は難しいらしい。	築館
3	若柳地区においても、汚染牧草処理施設としては、迫川流域でもあり、候補地としては賛成できない。汚染牧草による製造堆肥を散布した実験圃場の牧草からは、放射性セシウムは検出されなかったというが、市民としては不安視しているので、その安全性を再度説明願いたい。	議会としては、栗原市における汚染牧草処理の安全対策を、チェックし、見守り、監視していく。指定廃棄物の最終処分等については、調査特別委員会において、安全性を確認しながら、引き続き調査を行っていく。	若柳
4	個人の私有地(牧草地)において、それぞれ堆肥化して処理できないのか。 また、農地の放射性物質対策として、塩化カリウム散布のため、配布されているが、いつまで散布しなければいけないのか。	汚染牧草の処理方針については、市が示していくことなので、議会が処理方針についてお答えすることは差し控えたい。ただ、汚染牧草処理の数量は膨大であり、個人ごとに処理することは、市が予算化する上でも困難であると考えられる。塩化カリウムの散布については、農作物において、放射性物質に汚染されないようにしているものなので、当面は市の方針を見守りたい。	若柳

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
5	減容化実証実験の堆肥化は、どこでやられたのか。また、実証実験の圃場では、牧草から放射性セシウムは検出されなかったというが、安全性の観点から、もっと別の箇所でも実証実験を重ねるべきではないのか。	減容化実証実験の堆肥化については、金成有機センター敷地内において堆肥化され、栗駒鳥沢地区の圃場にて、生産した堆肥を利用した牧草の育成実験を実施した。実証実験の箇所については、市当局にも提言として伝える。また現在、実証実験とは別に、処理施設の候補地についても、議会として、特別委員会にて、調査を行っていくものである。	若柳
6	①上田山牧野は、指定廃棄物最終処分場を造らないとしている網掛け区域である栗駒沼倉地内に入っている場所である。それを分かっている候補地として調査したのか。国がダメだという場所を市が良いというのはあり得ないことだと思う。 ②最終処分等に関する調査特別委員会の委員9人のメンバーは？	①6月に唐突に示された場所であるが、良い悪いにかかわらず現地確認したものである。場所は国ではなく市が選定したもので指定廃棄物とは別に、8,000ベクレル以下の汚染牧草を早く処理したいため提案されたものである。 ②幹事会の9人は、相馬勝義委員長、高橋渉副委員長、小野久一、高橋勝男、五十嵐勇、三塚東、阿部貞光、菅原正剛、佐藤勇の各委員である。	栗駒
7	堆肥化施設の建設は怎么样了のか。市長も説明訪問しているのか。	候補地として市が示した栗駒の市営上田山牧野について住民組織「栗駒地区民の会」を立ち上げ反対運動をしている。決定については市長の権限で答えられない。市長の訪問について最初出席できず以後誠意を示すべき出席をしている。	高清水
8	市は高清水地区を含め各地を回り説明をしたのか。市は堆肥化処理を目指しているが安全性はどうか。	7月10日の鶯沢地区を皮切りに平成30年度市政懇談会の開催となったが、この日に官製談合が発生し、予定していた高清水地区の説明は中止となった。事業主体は市である。堆肥化は放射性物質の影響で外部に及びにくいとして安全性が高く、焼却は飛散のため理解されない。堆肥化で進行し今日まで推移している。風評被害の払拭のため安全性は不可欠である。	高清水
9	放射能汚染に関し、竹の子であるが三本木は出荷ができ栗原は出荷ができない。被害があり栗原市だけ汚染されている感がある。	竹の子、山菜の販売は禁止されている。子どもには食べさせるのを控えてはどうかと思う。	高清水
10	指定廃棄物に関しての決定事項について継続的に市民説明会をしてほしい。	栗原市議会としては厳しいのではないかとと思う。説明は市政懇談会が最良と思うので地域の方々に丁寧な説明は必要である。市に提言していく。	高清水
11	牧草から放射性物質が検出されなかったとあります。これは数値があがらないという意味なのか、このまま読むと放射性物質はないと受け取るが、詳しい状況を説明してほしい。	100ベクレル以下が国の基準値である。実験結果は10ベクレル以下で、全くないということではなく国が示している基準値以下だということである。	一迫
12	測定の仕方、表現の仕方を受け取りが難しい。調査報告は詳しく記述し、説明してほしい。今後、数値に関する所は、詳しくしてほしい。関連して、事故直後に環境放射線対策市民会議ができ、除染について主に取り上げてきているが、唯一市民が知りえる情報を共有でき、学ぶ場が市民会議と考える。議会でも市民の意見や情報を提供する場として、重視して活用や説明をする場として、議会でも取り組んでいただくよう要望する。	限られた時間の中で、細い数値は説明できなかった。9月の市の説明会では詳しく数値を掲載していた。最大10ベクレル、最小で6.1という数字を参考にしながら、皆さんと情報共有しながら、この問題を解決に進めていきたい。市民会議については、市長へこうした意見があったと報告する。	一迫

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
13	先程の10ベクレル以下の回答は、築館の説明会では300ベクレル以下という話だった。何か数字が間違っているのではないか。放射能廃棄物の話だと文章じゃなく数字だと思う。100ベクレル以下は安全で、101は危険なのか。処分場を上田山にする際、ジオパークとの関連はどうなるのか。このまま進めるのか。	調査したのは、セシウム134・137です。134については検出されなかった。土壌から植物への移行の話である。137が10ベクレル以下である。134は32、137は233とか269と数字が出ている。堆肥化するのにはあくまでも300ベクレル以下という内容である。ジオパークについては政策に関わることでですので、この程度しか発言できません。	一迫
14	放射能を減容するわけではない。牧草だけでなく稲わらもある。1年で終わるわけではなく5年以上もかかる話である。100・300ベクレルで安全なのか。それが安全かどうか住民に説明しない限り平行線をたどる。セシウム137は半減するのに30年かかる。専門家の研究調査をやって、市役所や市議会が納得して、こうした方法を進めたいと市民にキチンと説明をしないと進まないと思う。	持ち帰って検討します。要望として承ります。	一迫
15	こういう説明会をどんどんやらせてもらって、なるべく多くの市民が関心を持ち、理解する場は必要なことだと思う。これまでの説明会を見てきて、不幸にも論点がずれることがあるので、専門的なコーディネートをしながら会を進めていく必要がある。先ほど市民会議の活用を申し上げたが、環境基本条例がある、放射性物質の問題が入っていなかったが、近年法改正によりこの問題も加わったと聞く、実行力のある栗原市の環境条例、規則、計画にしてほしい。是非議会として、この条例を使って有効な施策に役立ててほしい。この記録を開示して、市民へも報告してほしい。	持ち帰って検討します。要望として承ります。	一迫
16	基本条例の現状、今後どうこういう問題に関わっていくのか教えてほしい。	条例を変えるような内容ですので、持ち帰って色々検討します。	一迫
17	汚染牧草の堆肥化を行う中でセシウムが不検出となっているが、具体的な数値はどのくらいか。	測定器会の下限値が10bq以下となっているので、それ以下ということしかわからない。	瀬峰
18	放射性物質が土壌に与える状況、さらに牧草を使用した際の状況に関して、わかりやすく公表することで市民の安心や理解が進むのではないか	汚染堆肥を使用して生産された牧草については、使用する前に放射能測定を行い、基準値を超えるものが出た場合は、代替えの牧草を提供することになっている。	瀬峰

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
19	3ヶ所説明会回って、良い方向に行ってるのか。	<p>①栗原地内の説明会ですが、9月6日栗駒、8日若柳、築館で開催された。栗駒は欠席したが、若柳、築館に行った。聞いた範囲では、両方の意見があった。若柳は金成も対象だったので、金成の方で牧草を持っている農家の痛みをわかってほしいという意見もあったし、処理場は分散型でもいいのではないかとという声も聞いた。栗駒には行かなかったが、7月の栗駒沼倉地区の説明会では、周辺の方々が対象だったので厳しい声があった。牧草の保管数量は少ないし、水源地でもあり、栗駒山ジオパークの観光地の山麓であるということでの風評被害を心配する声が多かった。</p> <p>②栗駒での説明会では、行政側が事前に話しもなく上田山に処理施設を作りたいということだった。6月特別委員会でもなぜ地元で早く相談できなかったのかと質問した。行政側も調査不足で上田山山系からの湧水があり、約40戸が飲料水として使っている。安全だから水源地に作りたいという説明だが、何かがあった場合、汚染物質が三迫川に流れ、岩ヶ崎の取水池に行き、金成にも行き、若柳の取水池にも入ると話した。栗駒には汚染牧草は少ない。他地区の方が多いためである。散布する牧草地は市全体で行うようになる。水源地まで牧草を持って来て、そこで処理して、また堆肥を下流の地域に持って行って散布するというような経費のかかることを実施しているのかという質問もあった。水源地に作るのには反対という意見だった。</p> <p>③7月5日に栗駒三丁構造改善センターで地区民対象の説明会があった。</p>	鶯沢
20	汚染牧草は、栗原市でどの程度あるのか。	栗原市全体で2,557tである。	鶯沢
21	大崎市とかでは焼却だが、栗原ではできないのか。	<p>前市長時代から、現在の焼却炉では炉は2つあるが1つは大規模改修しており、一般廃棄物の焼却でいっぱいなので、汚染牧草を焼却する容量がないということで、焼却はしないということと我々も焼却に反対してきおり、今回の堆肥化の予算を承認している。大崎は焼却の実証実験、登米は牧草をそのまますき込んで実験している。栗原は堆肥化して少しでも早く土壌に還元しようと進めている。</p>	鶯沢
22	<p>上田山の牧草の処理について突然話が出て来ている。湧水については、班長さんと同じ考えである。こうした難しい問題がその地域に投げてよこすという施策がいかげんなものかと思う。国も県もきちんとした対応を示さないといけない。どこかで何とか処置をしないではいけなから、処置する場所については、地元も県もきちんと対応を取るべきである。誰もが地元を持ってきてほしくないのは事実である。農家も反対している人のことも両方考えなくてはならないので大変である。班長さん含めて特別委員会の方々は、市民に率直に話して理解を求めると以外にないと思う。どこかに落とし所はある。市としても市民に理解が得られるような説明して理解してもらえない。</p>	<p>平成28年2月補正で、460万円の予算を認めている。その内容は、堆肥化にする実験をするためである。減容化実験をするためには、汚染牧草を少しでも早く発酵させて堆肥にして、牧草を植えて実験した。堆肥化は金成有機センターで、大学の先生の指導を受けながら実験を行った。牧草がかなり乾燥してきれいな堆肥になっていた。その堆肥を栗駒の鳥沢の田んぼで実験した。牧草にセシウムが移行しなかったという結果が得られた。堆肥化でやるという市の考え方を認めてきた。特別委員会では段階ごとに調査してきている。</p>	鶯沢

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
23	堆肥化の実証実験の結果を市民にわかりやすく知らせる方法、議会だよりを読んで理解するのは大変である。今説明したようなことを地域で説明するくらいのことをする必要がある。高齢者の多い鶯沢地区では尚更だと思ふ。	そうした詳しい説明をするのが市の役割だと思うので、市の方へつなぎます。	鶯沢
24	堆肥化で放射性物質は出てなかったのであれば、私たちも製造堆肥を使ってみて、結果が良ければ進めてほしい。	牧草には移行していないが、セシウム濃度は300ベクレル以下出ている。 畜産農家の方にアンケートしており、対象は758人、回答率53%、回答者数404人、協力できるが154人、できない212人、未記入38人だった。	鶯沢
25	8000ベクレルのものが堆肥化することによって350ベクレルになるのは放射性物質はどこへ行ったのか。国定公園の所にそうした施設を作れるのか。また、施設を作ることによって福島からそうした物が来ることはないのか。浪江とか風評被害のこともあるので議員も現地の調査に行ってはどうか。そういったものを見てから判断されてはどうか。これから処理をする鶯沢の問題と風評被害の問題と施設を作る地区が将来限界集落になるということなど総合的に考えて判断してほしい。	持ち帰って検討します。	鶯沢
26	風評被害の方が大きいと思う。あの時取れたわらだけが毒と騒いでいるのが実情である。その後は大丈夫なんだと知らせるべきである。わらが残っているうち騒ぐと思う。	登米市では、そういう施設を作らないで直接すき込んでいる。稲わらも同じだと思う。我々農家やついて、あの年に集めないで田んぼにすき込んだ。そしてカリをふって調査するとセシウムが50前後だった。100以下だから食用にしても支障がないということで販売できた。特措法で数値が緩和されていた。	鶯沢

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
27	<p>学者でないのわからないが、人の話を聞いて、反対している人もいるようだ。行政側として、安全だということも広めていかないとわらあるうちこの問題で騒ぐと思う。</p>	<p>①この施設は、6億円かかる。国が出すが税金である。 ②公共施設とかも全て税金である。それと同じようにこれも計画作って環境省に提出すれば全額国の補助金の対象になる。 ③稲わらと牧草がある。稲わらは国・県が主導的に保管している。牧草については各自治体で処理するという法律の基で、各自治体が何でやるか、焼却が良いか、堆肥化が良いかがスタートだった。前市長は堆肥化の減容化でいくという方針で、金成で大学の先生の指導を受けながら実験を行った。簡易的にハウスの中で実験した。その結果を議会では受けて来た。その後、安全性を確認するために400万円の予算をつけて、野外実験ということで鳥沢で行った。国の基準は400まで良いとなっているが、この堆肥は300まで下げて、鳥沢で作物への移行について実験し、安全性なども調査した。 データ的には良いと出たので、市ではこの方式で行くということで議会にも説明してきた。国の方にも堆肥の減容化で予算を協議した。作った堆肥を使い道まで盛り込んで国に申請しないと予算がつかない。全てを申請内容にし、先程のアンケート調査結果も加えながら、国の方に予算折衝して6億円が認められたというのが経過である。申請する時に処理場の場所も明記しなければならないし、使う方も明記して、これで栗原はやりますということで、国から予算を認められ、地域説明会に入ったという流れである。施設は4～5年で使い終わったら解体する。 ④牧草は、2557トンある。うすめると9000トンになる。それを4年に分けて、180ヘクタールに散布するという内容である。</p>	鶯沢
28	<p>施設を作ったからと言って全国から来るのか。</p>	<p>自治体ごとの対応になるので、来ることはない。</p>	鶯沢
29	<p>栗駒沼倉、若木あたりは指定廃物の旗がたくさん立っていました。安心安全100%とは言えないと思う。地下水を利用している人は、なおさら健康問題が一番心配だと思います。水の問題が一番だと思う。前佐藤勇市長さんの時は女性の方が多かったが、今日は少ないので残念である。</p>	<p>市政懇談会のことではないですか。今回は議会報告会になります。そうした意見があったことを市につなぎます。</p>	鶯沢
30	<p>せっかく市で汚染牧草堆肥化の実験をやったのをなぜ広報へ出さないのか。こういう結果になったので堆肥化にするとなぜ出さなかったのか。各地区の堆肥センターでやってはどうなのか。6億円出してもらうために上田山に持っていくのか。</p>	<p>①栗駒では、市民の皆さんからそういう話しも出た。市内の堆肥処理施設がある3ヶ所で、できないかという意見も出た。前佐藤勇市長が減容化ということに決めたので、市でも減容化で進まざるを得ない。登米市みたいにすき込みという選択肢もある。このように決めたのでやらざるを得ない。 ②国の特措法では8000ベクレル以下の牧草は一般廃棄物で家庭ごみと同じ扱いをしても良いことになったので、焼却でも可能だし、市では焼却できないと先ほど説明した。国の補助金でやるためには1ヶ所にせざるを得ないとなった。処理施設は、どんどん水を出すような施設ではないということを理解してほしい。心配はつきないが、このまま放置することが行政の怠慢という声も聞いたこともある。</p>	鶯沢

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
31	上田山の水源地に持っていきよりも、今の施設を利用したら良いのではないかと思います。試験結果を広報に流して、いかがですかとアンケート取ったらどうかと思う。6億円かけてやれば良いとは思わない。なるべく早く処理したほうが良いと思う。	国からの補助が出るのには条件がある、それになかった方策で進めていかないと補助が出ないので、そこが難しいところである。この方法で6億円建設費が補助されるのが国との交渉で良いということになったので、理解を求めているのが市の現状である。	鶯沢
32	製造堆肥とは何か。指定廃棄物の最終処分等に関する住民説明会では最終処分等についてどのような反対意見がでたのか。	製造堆肥とは、汚染牧草と微生物資材と混合させ、その混合品を発酵処理したものである。市が開催した住民説明会においては、出席された市民の方から、多岐にわたって意見が出されたが、堆肥製造施設に関する設置については、候補地の近隣住民の方から、設置の反対意見等が出されている。	金成
33	製造堆肥の処理については、市内のみで処理できるのか。市有地の牧野を利用している、畜産農家には理解を得られているのか。汚染牧草の処理にあたって、堆肥化による実証実験によって、安全性が実証されているというが、本当に安全と言えるのか。	製造堆肥の処理については、市営牧場や民有地草地へ土壌還元するが、安全性を理解していただき、市は畜産農家の皆さんに、散布の協力を得て処理していく。 実験ほ場周辺において、放射性セシウムの検査、空間線量率、近隣河川の電気伝導度や全窒素等の化学成分の調査、放射性物質濃度の検査において、いずれも安全性が確保されているので、市としては安全に有効利用を図っていく。	金成
34	塩化カリウムの配布、散布が、当初一年間の限定と指示されていたが、現在に至るまで継続しているが、誰が責任を持って対処できるのか。責任の所在を明確にしてほしい。指定廃棄物の最終処分については、自治体よりも国の責任が重いと思うが、その中で本当に安全と言い切れるのか。	塩化カリウムの散布については、農作物において、放射性物質に汚染されないようにしているものなので、当面は市の方針を見守りたい。 現在、指定廃棄物の最終処分については、国と栗原市が綿密に連携を取りながら最終処分の処理にあたっている。今後も、しっかりとした連携を取りながら、安全性を確保して処理にあたってもらうよう、議会としても注視していく。	金成
35	指定廃棄物の最終処分等に関しては、安全性が確保されることが、最重要課題である。その確保がなされるよう、議会としても、腰を据えて取り組んでいきたい。	提言されたご意見は、我々議会としても、真摯に受け止め、安全性に伴う最終処分等に関する諸問題に取り組んでいきたい。	金成
36	志波姫地区では汚染稲わらを熊谷1か所で保管している、志波姫から他に持って行ってもらいたい。反対しないで我々は受けとったのに未だにこうなっているのはどういうことか、1人1人説明してほしい。	周辺の皆様にはご迷惑をかけています、新市長になってこれからどのような方法があるか、また議会として特別委員会としてもしっかりとやっていきたい。栗駒地区の反対運動については上田山牧野という話が突然出てきて周辺が水源地になっていた、そこに反対運動が起こるのは当然と思う、処理方法の問題・課題というのはもっと考えていかなければダメだと思っています。	志波姫
37	畑岡と志波姫で受け取った、皆さん大反対だった。しかし誰か受け取らなければならないということで受けた、あなた方はそのことを考えたことがあるか。受け取った時は8,000ベクレル以上だ、よく議会で話し合っって良い方向に持っていきのがあなたたちの仕事でないか。	ご立腹はわかります、これまでに議会では国に意見書を出しました。特措法を早く解除してほしいといっています、これをしない限り8,000ベクレル以上の処理は前に進まない。今400ベクレル以下の牧草を堆肥化するということを進めているが議会としては地域の意見を良く聞きながら良い方法を模索している。1箇所を集めるとなるとどこに持っていけばよいのか、その地域が反対するというところもあるわけで、よく考えなければならないという重大な問題です。	志波姫

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
38	大崎など他の市町村は動いている、なぜ栗原は進まないのか。	①動いていないわけではない、堆肥化する場所がいろいろな問題で反対をしているということです。市では堆肥化で進めているということを理解してほしい。 ②新聞報道では市長が「立ち止まって考える」と言っているが止めるとは言っていない。我々がこうしますとは言えないが、稲わらは別としまして、牧草の処理だけは早めたいと思いますので時間を頂きたい。	志波姫
39	議員から待ってくれと言われれば待ちます、その結果をもってきてほしい。 家のすぐ前に6トンもある、火災になったら住めなくなる、その辺を考えてほしい。	要望と受け止めた	志波姫
40	すき込みが良いと出たのだから安全性をPRして処理する方向で進めていくべきと思う。執行部にどう考えているんだではなく、議会として特別委員会がいうなり、協調すべきは協調して進める方向でいくべきでないか。	市も議会もやることはやっているが、なかなか前に進まないのが現状である。議会も努力しているがもう一步踏み込めないところもあるのでご理解いただきたい。	志波姫
41	候補地は上田山1か所だけだったのか、そもそも水源地に近い所にこのような施設を設けることはまずいと思う。本来であれば2・3か所を選んで検討すべきでないのか。	地元説明会ではニュアンス的には他も考えたように言いながらも最初から上田山であった。具体的な検討内容の説明はなく、水源地だということも担当部では調査不足で知らなかったということです。	志波姫
42	納得させるだけの資料がないのではないかと、大学の先生などの資料を示して説明しないと上田山周辺の人は納得しないと思う。	金成の堆肥化の実験でバクテリアをつかい堆肥化を行ない、作物に移行しないということでこの方法で行くと決定した。バクテリアの資料がないというのはその通りですので担当部に話をします。	志波姫
43	①上田山周辺の水源について調査しているのか。 ②議会のあり方委員会での3分科会の調査検討項目は今年度中に決定することで間違いはないか。	①場所の選定は唐突に議会に報告され、当初からギクシャクしていた。道路と電気と民家から500m離れていることだけで決定した。ところが下流の方々がそこから水を引いているとわかった。 ②議員定数については様々な意見が出ているが最低でもこの次の改選からできるように進めている。 ③議員報酬分科会では費用弁償を検討している、平成23年に廃止した交通費を職員に準じた額で復活すべきでないかと話している。	志波姫
44	最終処分の反対運動が栗駒であると聞く。どこの地域でも受け入れられないのではないかと。今後どうなっていくのか。	7月11日に特別委員会で現地確認を行なった。市長は丁寧な説明をしていくとしているので、特別委員会としては今後の動きを見ていくことにしている。	花山

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

6 議会のあり方調査特別委員会所管 27件

1 議会関係 27件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	議会のあり方委員会での各分科会の進捗状況を聞きたい。	①【議員定数・ICT化】議員定数については様々な意見があり、うまくまとまっていない、概ね減じる方向の意見が多い。12月議会を目途にまとめていきたい。 ②【議員報酬等】議員自らはなかなか決められないので、特別職等報酬審議会に諮ってもらった方が良いのではないかとの話は出ている。費用弁償については職員に準じた交通費実費支給は理解を得られるのではないかとの話があり、幹事会に諮りたい。 ③【議会運営等】議会・議場内の様々な対応(一般質問と代表質問のあり方等)について議論しており、年内を目途にまとめていきたい。	築館
2	①議員は近隣自治体と比べて多い、人口に見合った定数にすべき。交付金が減るのだから、議員も身を切る覚悟が必要でないか。特別職なのに通勤費を出すのはおかしい、議員報酬の中に含まれるべき、報酬はどのようにしようとしているか。 ②一般質問は旧態依然のやり方でセレモニー的でつまらない、質問に対する回答を事前にもらい一問一答したらよいのでは？質問内容の重複もあり振り分けるなどして効率化、緊張感を持たせてはどうか。 ③財政が厳しいのに財政問題について誰も質問していない、行政に対し大きな視点をもって質問するのも必要ではないか。	①現時点では増やすも減らすも進めていない、改めるには特別職報酬審議会等に諮って決定してもらい従うべきと考えている。 一般質問は事前に文書で回答をもらうことを議員からも要望している。 ②一般質問は行政・市政全体について何を言っても良い、重複する場合もあり、振り分けたり止めることはできない。 ③予算・決算特別委員会の中で財政審議するのが効率的だと思っしている。無頓着ではない。	築館
3	議会のあり方調査特別委員会の中で、議員定数についての検討分科会があるので、現在、議員定数について、どのような検討がなされているのかお聞きしたい。意見としては、現在の議員定数26名は多いように思えるのだが。	現在、分科会において検討中である。議員定数については、人口比、市内各地区における議員の役割、他の自治体における議員定数の動向などを熟慮しながら、栗原市議会の議員定数の適正を判断するべく、調査・検討を重ね、今年度末を目標に調査結果をまとめていきたい。	若柳
4	議員定数においては、旧町村10地区を考えれば、以前のような、地区(旧町村)議員定数で選出すべきではないのか。地区住民の代表として、議員活動をしてもらいたい。	合併当初は、1期のみ、地区定数によって選出されたが、それ以降は、自治法に基づいて、市議会選挙が執行され、選出しているので、ご理解いただきたい。但し、議員活動に関して、地区住民の要望等においても、栗原市民の声として、議員それぞれが、大切に取り組むよう、提言として周知いたします。	若柳
5	議会のあり方調査特別委員会の調査・検討された項目において、最終的にはどのような調査結果のまとめとなるのか、教えていただきたい。	調査結果については、最終的には今年度末を目標にまとめる方向である。今後は、栗原市議会基本条例に基づき、取りまとめた項目について、できるものから実施していく。	若柳

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
6	議会のあり方特別委員会で議員定数と議員報酬に係る検討の状況はどうか。 また、政務活動費についての検討状況はどうか。 (要望として)議員定数については議員提案になるが結果的に否決にならないよう、議会全体で合意のもとに行なってほしい。	①議員定数は、現状のまま、2人減、4人減、6人減、10人減という意見があった、削減になると思うが同規模の他自治体とも比べながら検討しているところである。 ②議員報酬は、自分たちでの調整することは難しく、市長など特別職のような報酬審議会に諮るのが良いと申し合わせている。また、合併当時にあった費用弁償は見直して今はないが、家が遠い議員もあり、交通費は職員に準じて支給する方向で検討している。政務活動費については議論をしていない。	栗駒
7	議会のあり方委員会では今年度末まで調査結果をまとめ実施していくというがいつまで実施するか大枠のスケジュールはあるのか、具体的に目安を示して検討すべき。	①交通費については12月中に幹事会を開き、進める方向になっている。報酬については時間がかかると思うが、各分科会で目標をもって進めたい。 ②議員定数については、次期改選からの適用を目指し分科会としては3月までには決めたい。 ③議会運営については、本来議員は提案型でなくてはならず、一般質問(代表・個人)のあり方などを検討している。	栗駒
8	議会のあり方委員会の分科会で決定した事項について、議会全体では反対や、ボツになる可能性はあるか。	各分科会で決めたことを幹事会で取り上げ、幹事会で決めたものは全体ですり合わせしながら本会議に提出し、それが通るように努力していく。	栗駒
9	議会では様々な問題が出ると思うが、その時に議員の中では「忬度」というものはないのか、議員は市民の代表として選ばれているのだから、「忬度」はないようにお願いしたい。	栗原市議会では自分たちの意見は遠慮なく言うのでそのようなことはない。周りを見て話を合わせることもなどない、市民にとって良いことは皆でやっているという気持ちでいる。	栗駒
10	①議会のあり方委員会でなぜ女性議員がいないか検討したことはあるか、本人の意思がなければ立候補することはないが、なぜ女性議員がいないかを議会で考えることで、今後の可能性につながるのではないか。 ②いろいろな審議会など女性が活躍できる場が多くあると思うので、議会が後押しをしながら女性に活躍の場を与えてほしい。	①以前には1人の女性議員がいたが現在は0人で残念である、栗原市でも女性議員が出てこられる環境作りが必要と考える。また男性による環境づくりだけでなく、女性にも度胸と勇気をもって出てもらうことも大事だと思う。 ②各審議会には女性も入っている、民生委員も多くの女性がいる、婦人会などもあり女性の活躍の場はかなり幅広いものになっている、ぜひ議員に立候補してほしい。	栗駒
11	①議員定数を40人ほどに増やし、報酬を300万円ほどに下げてはどうか。そうすれば女性も立候補しやすくなると思う、考えたことはあるか。 ②定数の増と報酬の減については、こう思うとか言うだけでなく、まずやってみてはどうか。	①正直、考えたことはない。議員も生活をしなければならぬので子育て世代など若い方が議員になってもらえるためには300万円は少ないと考える、逆に立候補者が少なくなる可能性も考えられる。 ②例えば報酬全体の年間予算が1億円だとすれば、その総額の範囲で定数だけを増やすということも言ったこともある、議員の中でも様々な意見がある。	栗駒
12	選挙費用を考えると女性がなかなか立候補できない、女性議員を増やすには簡単に立候補できる方法が必要と思う。各地基の婦人会長や区長会長を議員にあてはめるのも良いのではないか、定数を40人ほどに増やし、高齢の方は辞めて若い人に任せた方が良いと思う。	議員は地域を回り様々な問題を聞いている、女性が立候補しにくいことに関しては現在の老人介護の問題なども挙げられる。ただ単純に何十人にするという話ではなく、ご意見は持ち帰らせてほしい。	栗駒

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
13	議員定数を減らす方向で考えていると言うが市民の声を聞いて検討してほしい。過疎化が進み議員が地域を守ることも大事です、私は現状のままで良いと思う。	要望として受けた。	栗駒
14	議会のICT化とはどういうものかご説明ください。	ICT化とはパソコンやインターネットの情報通信技術を活用したコミュニケーションの総称ではあるが、議会としては議会運営にタブレットを使用するなどして情報や知識の共有を図れることを目指すものである。ICT化により採決等もでき、効率の良い議会運営も可能となる。現在検討中である。	高清水
15	「増額するのか減額するのか」等について報酬の検討は。	議員報酬については、これまで議員発議による削減を含め3度人事院勧告に準じ削減してきた。現在議員報酬等検討分科会で検討中であるが、まだ結論が出ていない。 議員定数について削減は必要なのではと思う。また、議会のICT化であるが、ペーパーレスも必要のため、タブレット、インターネット関係について導入すべきか検討中である。	高清水
16	議会運営の効率化においても見本になるように進めて欲しい。政務活動費の返還率も大きいので福祉のサービスに利用して欲しい。常に目を光らせて欲しいし、市民に理解できるように説明も必要である。	政務活動費については有効に使用させていただく。他については要望としてお伺いしておきます。	高清水
17	人口も減っており議員定数の削減も余儀なくされるが、花山、高清水等人口の少ない地域に1人は置いてほしいがどうか。 報酬も市民の立場に立って考えて欲しいがどうか。	第1回目の栗原市議会選挙は旧町村小選挙区として定員45名で実施し2回目より栗原一円、オープン選挙区となった。元の小選挙区に戻すかどうかは今後の検討課題となる。 若い人の立候補のこともあり市民の立場に立って慎重に検討する。	高清水
18	ICT化とは、具体的にどのようなことを検討しているのか。	ICT化についても検討中である。これまでの取り組みとしては、登米市ではタブレットを議員が持ち、議案とか通知等をペーパーレス化するということが近年各市町村で取り入れている。栗原市議会としても今後どうして行くのかをテーマに掲げ、業者の見積りやICT化を進めるかどうか、分科会の中で調査・検討している。	一迫
19	議員定数について、栗原市合併してから14年目である。合併当時の定数そのまま来ているので、20人や22人くらいにして、浮いた分の報酬を他の人にプラスするという考えでもいいのではないかと思う。結論は出てないと思うが、その辺の考えを教えてください。	当初合併協議会での取り決めで、45人でスタートした。その後30人、平成25年の選挙から26人で進めてきた。現在まわりの状況が変動している。議員の後継者の問題、定数削減の問題など色んな情勢がある。この委員会の中で再度検討しようということになり、進めている。まだ実質的な協議に入っていない段階である。今ご意見いただいた内容なども取り入れながら定数削減等については、討議をしていく。	一迫
20	①ICTとはどういうことか ②タブレット端末等は市で用意するのか、ペーパーは大変なので良いことではないか ③ペーパーレス化の時代になってきている。議会でも取り入れてはどうか	①業務にタブレット等を用いて、作業効率化。紙資料等が不要になり、経費の削減になる。 ②公費か、自費か含め検討中である。 ③要望として受け止める	瀬峰

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
21	<p>①議会傍聴者はどの程度いるのか</p> <p>②18歳以上が投票権を持つようになったので、学習の一環として高校生にも傍聴させることが必要ではないか</p> <p>③子供議会の開催をしてみてもどうか</p>	<p>①具体的人数については資料がないので報告できないが、傍聴にくる人はいる。特に一般質問の時は多い。</p> <p>②年1回くらいは、小学校で来ているようであるが、高校生については検討する。</p> <p>③ご意見として受け止める</p>	瀬峰
22	<p>議会のあり方について、私たちにも最高のテーマである。早く実施して進めてほしいし、結果を報告してほしい。</p>	<p>これについてはスタートしたばかりである。今年度中を目途にまとめあげたいと取り組んでいる。</p>	鶯沢
23	<p>議会のICT化とはどういうものなのか説明下さい。</p>	<p>ICTとはパソコンやインターネットの通信技術を活用した、コミュニケーションの総称ではあるが、議会としては、議会運営にタブレットを使用するなどして、情報や知識の共有を図れることを目指すものである。</p>	金成
24	<p>ICT化については、議会のみならず、市民レベルにおいても、活用を普及させてもらいたい。</p>	<p>市民レベルでのICT化の活用については、どのような活用が利用できるのか今後の調査、研究が必要だと思われる。提言については、関連する担当部に伝える。</p>	金成
25	<p>市民レベルでのICT化の活用ということだが、高齢者にとっては利用できないので、紙面における情報提供をお願いしたい。</p>	<p>市民に対する市政における情報は、どういう形態であれ、公平に提供されるものであるので、紙面における情報提供は、必要不可欠のものとする。</p>	金成
26	<p>議会のあり方について、議員報酬等の検討分科会において、議員報酬、出席費用弁償、政務活動費について、現在の調査・検討の途中経過を教えてください。</p>	<p>現在、まだ検討・調査中ではあるが、検討分科会において、出席費用弁償として、所謂、交通費などの旅費は支給されるべきではないかと、結論づけている。その他については、継続して調査・検討されている。</p>	金成
27	<p>①議員は全員男性であり、女性がいない。花山地区の70%が女性であるが、女性の声が議会に届かないのではないか。議員定数削減により、地域の声が届かなくなるのではないか、どのような議論になっているのか。</p> <p>②仕事を持っていても議員が兼任できるように、夜間議会など取り入れては</p>	<p>①定数減の話が多く出ているが、現在協議中である。</p> <p>②ご意見として受け止める。</p>	花山

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

7 入札制度に関する調査特別委員会所管 11件

1 議会関係 1件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	官製談合の防止対策として、議会としてはどのような対策を講じているのか。	議会としては、入札制度に関する調査特別委員会を設置し、栗原市の入札制度の現状等について調査し、今後の官製談合等の再発防止を提言するとともに、議会の監視機能を強化するため調査研究していく。	若柳

2 総務関係 10件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	官製談合に関し市長よりお詫びをすべきではないか。	7月16日号の広報にお詫び状を毎戸に折り込んでいます。7月13日にホームページにも同文書を掲載した。	高清水
2	河北新報に最近栗原市の記事が多く載っている。その中で先日コンプライアンス研修会で支所職員が半分いなかった。2～3日間研修やると聞いた。これは何をやっているのか、中身の検証を是非してほしい。	河北新報などで色々報道されている。行政に対して色んな不祥事とかのチェック機能がない。新聞報道の後に議会が知るとというのが現状である。議会でもこうしたことに対応するため、入札制度に関する調査特別委員会を設置し、7人の小委員会をつくり再発防止に向けて検討をしている。先日2回に渡り、委員長・副委員長で仙台の地方裁判所に行って、内容や原因を傍聴している。結審まで後2回行って、行政が検証委員会を設置して検証している。それらを総合的に検討して、議会として色んなことを研究して、行政に提案していきたい。	一迫
3	市長さんにも話したが、他の市役所に行くとき非常に親切丁寧に対応してくれる。1年前位に市長さんにも話して、支所を回ってわかっていると話していたが、直っていない。支所に行くとき声かけもなく、対応してくれない。こうしたことが今年の不祥事につながっているのではないか。言葉は良くないが、引き締め、規律、範を正してほしい。何かの機会に話してほしい。	今までの議会報告会で市民からの要望、受付窓口の対応など色んな要望を行政に話して、市民への対応を改めるような要望をしている。市長からも職員に話しても通っていると思うが、その支所によって要望をすぐに受けて対応する支所もあるし、職員の関係で対応できてない所もあると思うが、今後も職員の指導について、市役所に働きかけていきたいと思う。	一迫
4	コンプライアンス委員会は20年以上も前に国の方針でできている。議員の所管の職員にコンプライアンス委員会をやったのか、議事録を見せてほしいとか話しているのか。してなければ把握していないのではないか。	人事評価制度がある。昨年総務委員会で兵庫県明石市の人事評価制度の調査に行った所、人材育成型であった。住民サービス向上という大きな目的に向けて職員の意欲・能力を高めて、より良い職場環境が構築されるよう努力すべきだと議会では申し入れている。今回の9月議会の一般質問の中でもコンプライアンスに関して、推進計画などもう一度見直しして積極的に進めるべきだという一般質問もあるし、市の方でも要綱を職員みんなですらに再度共有しながら法令順守の方針で取り組んでいくという決意は聞いている。	一迫
5	今まで20年間そうした研修とかしてなかったのか。	職員研修とか間接的には行ってきたと思う。コンプライアンスが入った研修はされてきている。	一迫
6	頻度はどれくらいですか。	その辺になると市の関係になるので市政懇談会などで聞いてほしい。	一迫

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
7	法令順守とか普通の常識である。月に一回とか上司から認識を持たせるようにしないと直らないのではないか。それをチェックするのがコンプライアンス委員会ではないか。やってるかやってないか職員に聞けばわかる話である。	コンプライアンス委員会を設置して、法令順守すべきだと提案は一般質問の中でしている。不幸にして飲酒運転があった際、支所長を中心に再度運転の規範など確認していたのを見かけた。	一迫
8	公務員は法令順守、条例順守して当たり前の職業だと思う。もう少し規律とかに力を入れてほしい。こういう事例があと起こらないようにしてほしい。	持ち帰って市長部局に伝えます。	一迫
9	懲罰委員会は行なっているのか。	懲罰に関しては行政で行なっている。現在、裁判の結論が出ていない状態で、処分が最終決定されていないと報告を受けている。現在は起訴休職扱い。	瀬峰
10	官製談合について、議会としても、この一件のみならず、もう一度戒めて再発防止に努めていただきたい。	議会としても、入札制度に関する調査特別委員会を通して、議会の監視機能を強化し、官製談合等の再発防止に努めていく。	金成

平成30年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

8 議会報告会運営調査特別委員会所管 4件

1 議会関係 4件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	各地区の区長会と地区出身の市議会議員との懇談会の開催を要望する。 ぜひ、地区の区長さんと、ひざを交えて、話しを直接聞いてもらいたい。	以前に、地区によっては、地区出身の議員と地区の区長会との懇談会を開催したところもあるが、今後は、市議会全体の中で、各地区における、地区出身議員と地区区長会の懇談会について、議会報告会取りまとめとして、提言させていただく。	若柳
2	今回の議会報告会は2班の議員6人中4人しか出ていない、前回は全員出席だが今回なぜ2人欠席しているのか。築館地区、志波姫地区は何人出席したか。議会だよりに定例会の議員の出欠状況を掲載してほしい。	高橋義雄議員は沖縄での戦没者慰霊祭出席のため、佐藤勇議員は親戚が倒れて病院にいるため欠席した。築館地区は全員出席、志波姫地区は高橋議員が沖縄に向かったため5人の出席である。出欠状況の掲載については分かりました。	栗駒
3	今回の金成地区の議員報告会に、行政区長の出席が誰も見られないが、それでは、行政区長の役割を果たしていると言えるのか。	議員報告会の開催については、市民の皆様にも、通知されているものであるが、今後は、行政区長に対しても、積極的に出席されるよう、総合支所を通して行政区長会などに働きかけていきたい。	金成
4	午後6時という時間は女性が参加できない時間ではないか、女性の参加を望むのであれば、栗原全体で文化会館などを利用して日曜日の日中ではどうか。	要望として承ります。	志波姫